

# 2011年度事業報告

## I 事業概要

当財団は平成9年4月の設立以来、様々な分野における県民一人ひとりの主体的で自由な意思による社会活動を支援してきたところであり、平成23年4月からは公益財団法人に移行し、これまで以上に市民が担い手となる社会づくりを目指す公益性の高い団体としてスタートした。

平成23年度は、地域のことは自分たちで考え創りあげていくという高まりのなか、市民の主体的な活動や東日本大震災における一人ひとりの寄付やボランティア活動に見られる社会活動を積極的に支援していく事業活動を実施した。

具体的には公益財団法人のメリット最大限を生かし、地域への想いを寄付として受け入れ、市民活動を支援する「未来ファンドおうみ」の新たな展開、NPOと企業など多様な組織との連携を図る「ネットワークの促進」、地域プロデューサーの育成を目指す「おうみ未来塾の運営等」に努めてきた。

また、国・県の「新しい公共」事業の取り組みが行われたことから、当財団としてもこれに即応した事業展開を行うとともに、平成23年度の国の税制改正において特定公益増進法人や認定NPO法人などへの寄付金について、これまで以上に寄付しやすい環境づくりがされ、また個人住民税についても県・市町が条例で指定した場合には優遇措置が可能となったことから、県に対して県税の優遇措置等を講じる要望書を提出した。

さらに、組織、体制面では、公益財団法人移行による理事会・評議員会の機能が強化されることや事業内容についての説明責任にも対応するため「組織評価」の導入にも取り組んだ。

## II 事業実績

### 1. 情報提供事業

#### (1) 情報交流誌「おうみネット」の発行

センターの事業、市民活動に関する動き、意見・提言、活動団体の活動情報などを掲載する「おうみネット」を発行した。

A4判8頁 年4回発行（6月、9月、12月、3月）

No.78 特集「「おたがいさま」と支えあえる社会へ」

No.79 特集「災害が起きたとき、私たちにできること」

No.80 特集「ずっと安心して住めるまちづくり「買い物弱者を支える」」

No.81 特集「未来ファンドおうみフォーラム

「一人ひとりができること あなたの寄付からはじまる絆」

部数 1万部/回

配布先：市民活動団体、個人、行政（県・市町）、社会福祉協議会、図書館、公民館、ホール、大学、高校、銀行、郵便局、他府県NPOセンターなど1984カ所



※市民活動団体参加型の発送作業は、当センターの発送を手伝っていただく他、団体の情報発信支援・ネットワーク促進をねらいとしている。年4回の発送作業で市民活動団体から発送ボランティア 32名が参加。

## (2) 未来ファンドおうみニュースレター（新しい公共支援事業）

市民の想いを込めた寄付を市民活動への助成につなぎ、おたがいさまで支え合う、未来ファンドおうみから、助成採択団体の情報、ファンドレイジング事例など寄付文化を育むことを目的に発行している。

A4版 4ページ 2回発行（創刊号：12月、  
2号：3月）

創刊号 話題「寄付は人と地域の絆を結ぶ」  
寄稿：鶴尾雅隆（日本ファンドレイジング  
協会常務理事・事務局長）

2号 話題「寄付を包む空気」

寄稿：早瀬 昇（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）

部数：1万部/回

配布先：情報誌おうみネットと同じ



## (3) ブックレットの発行

### ◆ブックレット30号

・ファンドレイジングフォーラムの講演、ワークショップ、事例紹介の記録をまとめた。 A5版 50ページ 発行部数 700部

### ◆ブックレット31号

・滋賀県 NPO 法人現状調査及び支援ニーズ調査の概要、同調査中間報告会での基調講演の記録をまとめた。

A5版 50ページ 発行部数 700部

## (4) 活動団体データベースの整備

照会対応や情報提供への利便性、センターのサービス向上を図るため、各担当者が個々に使用していた関係先のデータや新聞データ、さらには、これまでの相談・指導等の経過等について一元的に蓄積・管理するシステムの運用を開始した。

## (5) 情報・資料の収集と閲覧・貸出

地域づくり情報、人情情報、活動団体情報、国や自治体の施策情報、助成団体情報などを収集・提供するとともに、図書および雑誌の閲覧・貸出を行い、広範な市民活動関連の情報発信拠点として活動した。

## (6) インターネットの活用

センターのホームページ・ブログを通じて、センターの事業や市民活動団体の情報発信を行った。

- ・ホームページ：アクセス件数 56,512 件 （1 日平均 155 件）
- ・ブログ：アクセス件数 46,040 件 （1 日平均 126 件）

## (7) メールマガジン「おうみネットe〜マガジン」の配信

無料メールリングリストを利用して、市民活動団体に月3回程度、イベント、助成金、センター事業等の情報提供を行った。

- ・登録件数 963件
- ・配信回数 36回（第267号（改訂版）～302号）

## 2 市民活動促進基盤強化事業

### (1) 組織基盤強化事業

#### ① 相談業務の実施

- ・県民や団体のさまざまな相談に応じる窓口を運営した。

相談実績：来室・訪問166人 電話113件  
メール・fax 15件

- ・会計・税務・労務相談を受付けた。
- ・「NPO法人設立」や「団体の組織運営」などをテーマにNPOミニ講座を開催した。

毎月1回（第2金曜日）設定

開催 10回 参加者計 23名



#### ② NPO サポート業務

市民活動団体の組織基盤の強化のため、職員等が訪問面談してサポートを行った。

- ・サポート団体数：8団体
- ・面談回数：22回

#### ・内容

- おうみNPO活動基金2011採択団体（4団体）

○特定非営利活動法人どこでも介護（3回）

○おうみこっとな夢つむぎ（3回）

○NPO法人アンダンテ参画21（3回）

○しなやかシニアの会（1回）

- びわこ市民活動応援基金（4団体）

○余呉オペラ実行委員会（3回）

○食育ながはま元気っ子の会（3回）

○Om-fat/モファ（more field art term）（3回）

○+nico（プラスニコ）（3回）

### ③ 市民事業相談の実施

事業展開を模索する団体の相談に応じた。

- ・サポート団体数：11団体
- ・面談回数：22回

### ④ NPO支援センター連携事業

淡海ネットワークセンターと県内に設立されている地域支援センター等、18団体のスタッフが相互の機能を高めるため、情報交換を行う意見交換会を開催した。

### ⑤ 市民活動支援関係県域団体連絡調整会議

県域の市民活動支援組織が事業の連携を目的に情報交換を行った。

### ⑥ 市民活動ふらっとルームの運営

ワーキングコーナーおよび情報コーナーを一体化して「市民活動ふらっとルーム」とし、人と情報の交流促進を図った。

#### 〈ワーキングコーナーの運営〉

会報やチラシづくりの支援のため、印刷機、紙折り機、コピー機等を備えたワーキングコーナーの運営を行った。

利用実績： 660件  
1,097人

#### 〈情報ボックスの運営〉

利用団体 65団体

#### 〈図書コーナーの運営〉

利用者数 487人



## (2) 市民活動支援事業

### ① 協働サロンの開催

#### ■「第1回 住み良さを「アート」でつなぐまちづくり」

日時 2011年6月19日(日) 13:10

場所 草津まちづくりセンター

参加者 26名

対象者 「アート」のまちづくりについて関わっている団体や新たなまちづくりを考えている団体

内容 基調講演「アートを活用したまちづくりについて」

山口洋典(立命館大学教員)

(きょうとNPOセンター副運営委員長・常務理事)



アンケート 内容について

① たいへんよかった	7名
② よかった	15名
③ どちらでもない	0名
④ あまりよくなかった	0名
⑤ よくなかった	0名

■「第2回 ー ① 自分の買いたいものが自分で選べる地域に  
～暮らしの足を考える地域の絆プロジェクト～」

日時 9月16日(金) 13:00～16:30

場所 滋賀県男女共同参画センター

参加者 21名

対象者 高齢化する限界集落や限界団地における移動を伴う買い物等が困難な状況にあり、また、それぞれの地域で「買い物場所」や「暮らしの足」を求めて活動をしている団体、個人。



内容 講演 「コミュニティビジネスでつくる地域の絆」

永沢 映さん

(NPO 法人コミュニティビジネスサポートセンター代表)

アンケート 内容について

①たいへんよかった	7名
②よかった	3名
③どちらでもない	0名
④あまりよくなかった	0名
⑤よくなかった	0名

■「第2回 ー ② 自分の買いたいものが自分で選べる地域に  
～暮らしの足を考える地域の絆プロジェクト～」

日時 2011年12月2日(金) 12:30～16:00

場所 長浜市余呉町上丹生・余呉山村開発センター

参加者 15名

内容 上丹生の店視察 『余呉の取り組みに学ぶ』

講演「全国の事例に学ぶ」

大室悦賀さん

(淡海ネットワークセンター市民事業化支援アドバイザー)

■「第3回 地域資源を活かしたニューツーリズムで地域づくりへ」

日時 2012年1月13日(金) 13:00~16:30

場所 県民交流センター305会議室

参加者 52名

対象者 体験プログラムを持っているNPOと旅行社や観光事業社等

内容 講演 「着地型観光の振興によって北海道の活性化を図るために」

鈴木宏一郎さん

(北海道宝島旅行社代表・

北海道宝島トラベル代表)



アンケート 内容について

- |             |     |
|-------------|-----|
| ① たいへんよかった  | 19名 |
| ② よかった      | 5名  |
| ③ どちらでもない   | 0名  |
| ④ あまりよくなかった | 0名  |
| ⑤ よくなかった    | 0名  |

② 寄付文化を育むフォーラム(新しい公共支援事業)

■市民に支えられるNPOを目指して

～ファンドレイジング(資金調達)フォーラム～

目的 寄付を受ける側である市民活動団体に対して、寄付を集めるための意識づくりを目的にフォーラムを行った。

日時: 2011年10月15日(土) 10:00~16:00

会場: 草津市立まちづくりセンター

共催: 公益財団法人草津市コミュニティ事業団

内容: i 基調講演 「ファンドレイジングを始めよう」

鈴木 歩氏 (NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会)

ii 質問攻め! 県内の事例から学ぶ

- ・山門水源の森を次ぎの世代に引き継ぐ会
- ・NPO法人おうみ犯罪被害者支援センター
- ・NPO法人やまんばの会

iii ワークショップ「組織で取り組むファンドレイジング」

参加者: 18名

アンケート 回答9名

- |          |    |
|----------|----|
| たいへんよかった | 4名 |
| よかった     | 5名 |



## ■未来ファンドおうみフォーラム

～一人ひとりができること あなたの寄付からはじまる絆～

目的 市民の想いを込めた寄付で市民活動を支える「未来ファンドおうみ」。「一人ひとりができること」をテーマに、身近なところから、意識して、行動することで、社会が変わること、寄付で支え合う社会について、広く市民に考えてもらう機会を提供した。

滋賀県内の市民活動団体もポスター出展を行い、来場者へ活動と寄付についてPRを行った。

日時：2012年1月28日（土）13：30～17：00

会場：県民交流センター（ピアザ淡海）ピアザホール

共催：公益財団法人滋賀県国際協会、財団法人滋賀県体育協会

参加者：300名

内容：i 基調講演：「一人ひとりができること」

野口 健氏（アルピニスト）

ii 報告「寄付が伝えるメッセージ」

- ・大津市ボランティア連絡協議会  
「レインボウハートプロジェクト」
- ・公益社団法人日本フィランソロピー協会  
「ペニーハーベストプログラム」
- ・滋賀レイクスターズ

「コミュニティ活動」

iii 市民活動団体 PR タイム

出展市民活動団体： 28団体



アンケート回答 51名

たいへんよかった	35名
よかった	16名



寄付についてアンケート 回答142名

「あなたの昨年一年間の寄付はどれくらい？」

一万円以上	64名（45%）
三千円以上、一万円未満	37名（26%）
三千円未満	38名（27%）
寄付しなかった	3名（2%）

### ③ 滋賀県 NPO 法人の実態及び支援ニーズに関する調査（新しい公共支援事業）

目的 滋賀県では約 520 団体が活動し、滋賀における「新しい公共」の担い手として期待されている。平成 23 年 6 月、特定非営利活動法人促進法が一部改正され、NPO 法人が市民に情報を開き、市民の信頼性を高め、広く寄付などの支援により活動を安定的、継続的なものにする道が開かれた。市民が市民を支える豊かな地域づくりのために、各 NPO への実態に即した支援につなげることを目的に、滋賀県における NPO 法人を対象に現状と支援ニーズについて調査を行った。

#### 事業内容

i 財務調査：滋賀県および内閣府のウェブサイトで公開されている各団体の事業報告書から調査を行った。 対象 557 団体

ii 支援ニーズ調査：調査票を送付、回収により調査を行った。

期間：2012 年 1 月～3 月

対象：557 団体（37 団体に不達）

回収：289 団体

有効回答数：287 団体（回収率 51.5%）

iii 滋賀県の NPO 法人現状調査 中間報告会&意見交換会

「滋賀の NPO 今とこれからを一緒に考えませんか！」

日時：2012 年 3 月 22 日（木）13:00～16:30

会場：県民交流センター（ピアザ淡海） 207 室

内容：i 基調講演「NPO は 10 年後のよりよい滋賀づくりに貢献できるか？～協働・総働で地域づくりをすすめるために～」

川北 秀人氏（IIHOE 人と地球と組織のための国際研究所）

ii グループに分かれて意見交換

ファシリテーション：西川実佐子氏

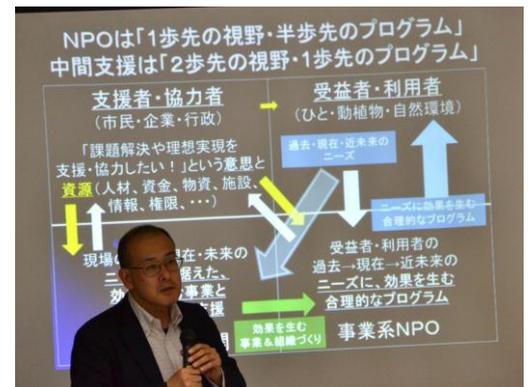
（NPO 法人ひとまち政策研究所）

参加者：29 名（中間支援団体 8 名、NPO 11 名、行政 4 名、個人 6 名）

アンケート 回答 7 名

たいへんよかった 4

よかった 3



「平成 23 年度滋賀県 NPO 法人現状調査及び支援ニーズ調査報告書」については、ホームページにて公開予定

### 3 人材育成事業

#### (1) おうみ未来塾の開催運営

##### ①第11期生

地域プロデューサー育成のための「おうみ未来塾」を開講し、第11期生2年目のグループ活動の運営を行った。

• 卒塾生 24名（入塾時29名 退塾 5名）

• グループ活動



##### • ほっと commons

「地域とつくる！「ほっと」交流スペース再構築



（成果発表会にて子ども達とつくったまちあきマップを披露）

##### • +nico (プラスニコ)

福祉×デザイン



（豆腐のデザインのために作業所の職員の方との打ち合わせ風景）

##### • COOL BIWA

外国人の視点から、クールな地域の魅力、再発見！！



（外国人の方を対象にミニツアーを実施）

##### • 里山腹八分目

里山からつなぐ気脈ネットワークの創造



（大篠原の里山で開催した体験イベントでの集合写真）

• 全体塾生会の開催

2011年4月24日 琵琶湖博物館施設見学、塾生間の活動に関する意見交換

2011年8月6日 びわ湖競艇施設見学、塾生間の活動に関する意見交換

• 中間報告会 2011年6月12日（土）

• 成果発表会・卒塾式 2011年11月12日（土）

参加者数：64名

スケジュール

各グループ発表

卒塾生事例発表

ディスカッション

テーマ：「地域をプロデュースということ」

【おうみ未来塾運営スタッフ会議】 2011年6月12日（土）

2011年8月2日（火）

【おうみ未来塾11期生総括会】 2011年10月25日（火）



## ②12期生の募集について

12期生募集説明会を県内6カ所で開催 30名参加

日時	場所	全体(人)	男(人)	女(人)
2012年3月30日 19:00~20:00	米原公民館	3	0	3
2012年3月31日 14:30~15:30	ピアザ淡海	5	3	2
2012年3月31日 10:30~11:30	今津東コミュニティーセンター	1	1	0
2012年4月6日 19:00~20:00	守山市民交流センター	9	6	3
2012年4月8日 10:30~11:30	ピアザ淡海	7	5	2
2012年4月8日 14:30~15:30	アピア八日市店	5	4	1
計		30	19	11

## 4 未来ファンドおうみの運営

NPOに対して資金助成を通じた自立支援を行う「おうみNPO活動基金」「びわこ市民活動応援基金」により、NPOの基盤整備や事業支援に向けた助成を行った。

### (1) おうみNPO活動基金助成事業

成果発表会

日 時：2011年4月23日(土) 14:00~16:50

場 所：県民交流センター305会議室

発表団体(5団体)

おうみNPO活動基金2010特別枠「びわこ市民活動応援助成事業」採択団体

NPO法人近江八幡市中間支援センター

賤ヶ岳合戦城郭フォーラム実行委員会

特定非営利活動法人非営利甲賀の環境・里山元気会

特定非営利活動法人環境と農業の融合を考える会「鹿深の杜」

おうみこっとな夢つむぎ

意見交換

びわこ市民活動応援助成事業採択団体5団体、未来ファンドおうみ助成事業2011採択団体8団体と運営委員、寄付企業(関西アーバン銀行)と一緒にテーマに基づき意見交換を行う。

### (2) 未来ファンドおうみ2011助成事業

#### ① オリエンテーション

日 時：2011年4月23日(土) 14:00~16:50

場 所：県民交流センター305会議室

内 容 採択8団体へ「未来ファンドおうみ助成事業の手引き」に基づき説明  
その後、びわこ市民活動応援助成事業採択5団体の発表後、運営委員、  
寄付企業(関西アーバン銀行)と一緒にテーマに基づき意見交換を行う。

## ② 中間報告会・相談会

日時 9月25日(日) 13:00~16:50

場所 県民交流センター207会議室(ピアザ淡海)

内容 中間までの進捗状況と共に、相談シートに事業課題と組織課題を記入しそれを基に発表を行う。委員と中川芳江さん(株式会社ネイチャースケープ専務取締役)よりアドバイスを受ける。

### 報告団体

- おうみ NPO 活動基金採択団体 (4団体)  
特定非営利活動法人どこでも介護  
NPO法人アンダンテ参画21  
しなやかシニアの会  
おうみこっとな夢つむぎ
- びわこ市民活動応援基金採択団体 (4団体)  
+nico(プラスニコ)  
食育ながはま元気っ子の会  
m-fat (モファ)  
余呉オペラ実行委員会



## (3) 未来ファンドおうみ2012助成事業について

「おうみ NPO 活動基金」「びわこ市民活動応援基金」「びわ湖の日基金」(新規)の3件の助成事業と新たな「日本の元気なきずなプロジェクト基金」淡海のひらく、つなぐ、みらい賞の募集を行う。

### • 募集相談会

11月29日(火)	18:30~20:00	淡海ネットワークセンター	参加6名
12月4日(日)	10:00~11:30	アクティ近江八幡	5名
12月7日(水)	18:30~20:00	大津市市民活動センター	2名
12月10日(土)	10:30~12:00	米原公民館	3名
12月10日(土)	14:00~15:30	草津市立まちづくりセンター	7名

• 募集開始 2011年12月1日

• 募集締め切り 2012年1月21日

• 申請受付 38団体

1次審査(書類審査) 2012年2月15日(水)

2次審査(公開プレゼンテーション) 2012年3月4日(日)

・採択団体

「おうみ NPO 活動基金」採択3団体 助成

決定総額 2,000,000円

トボス (TOPOS)

特定非営利活動法人元気な仲間

マキノまちづくりネットワークセンター

「びわこ市民活動応援基金」採択4団体 助成

決定総額 1,042,000円

特定非営利活動法人かじやの里

特定非営利活動法人マザーサプリ

特定非営利活動法人外出ボランティアスマイル

エコツーリズム協会しが

「びわ湖の日基金」採択3団体 助成決定総額 730,000円

ホテルの学校

NPO 法人びわ湖トラスト

白鳥川の景観を良くする会(景観隊)

「日本の元気なきずなプロジェクト基金」淡海のひらく、つなぐ、みらい賞

採択4団体 副賞50,000円×4=200,000円

浜大津朝市運営委員会

特定非営利活動法人やまんばの会

里山保全活動団体 遊林会

ぼてじゃこトラスト



**(4) 助成金・寄付金の受領**

① おうみ NPO 活動基金

オムロン株式会社草津事業所 188,301円

② びわ湖の日基金 (2011年7月1日開設)

株式会社ヌーベルムラチ 15,000円

有限会社とも栄菓舗 23,800円

抱きしめて BIWAKO 実行委員会 660,076円

匿名希望 (個人2名) 600,000円

※びわ湖の日基金寄付つき商品

株式会社ヌーベルムラチ あわび茸商品 3種類

有限会社とも栄菓舗 アドベリー商品 2種類

株式会社いのうえ 滋賀まるごとカレー、かぼちゃスープ

③ 日本の元気なきずなプロジェクト基金 (2011年12月1日開設)

びわこ市民研究所 300,000円

びわ湖の日寄付つき商品



(有)とも栄菓舗 株式会社又一ベルムラチ 株式会社のうえ  
 あど菓みるく あど菓むっす あわび茸商品 滋賀まるごとカレー 滋賀まるごとかぼちゃスープ

オムロン株式会社草津事業所



抱きしめて BIWAKO 実行委員会



## 5 その他

### (1) 平成 23 年度理事会、評議員会等開催状況

#### 淡海ネットワークセンター

日 時	区 分	主 な 内 容
4 月 12 日	第 1 回評議員会 (書面表決)	・ 評議員、理事の選任について
4 月 20 日	第 1 回理事会 (書面表決)	・ 常務理事の選定および事務局長の承認について
5 月 18 日	監事監査	・ 2011 年度決算監査の実施
5 月 27 日	第 2 回理事会	・ 2011 年事業計画および収支予算について ・ 2010 年度事業報告について ・ 2010 年度決算について ・ 評議員会の開催について ・ その他
6 月 15 日	第 2 回評議員会	・ 2010 年度決算関係の承認について ・ 評議員の選任について ・ その他
11 月 1 日	第 3 回評議員会 (書面表決)	・ 評議員の選任について
11 月 30 日	第 3 回理事会	・ 新しい公共支援事業の取組みについて ・ 2011 年度一般会計収支補正予算について ・ 評価体制について ・ 職務執行状況の報告
3 月 27 日	第 4 回理事会	・ 2011 年度収支補正予算について ・ 2012 年度事業計画および収支予算について ・ 評価体制について ・ 職務執行状況の報告